

伊勢原市景観チェックシート（基本編）

行為者		行為地の地名地番	伊勢原市
行為の概要・規模			
行為地が該当する景観まちづくりの基本方針	<p>「伊勢原市景観ガイドライン（基本編）」（以下 ガイドラインという。）のP4～9に掲載する景観まちづくり基本方針を確認し、行為地があてはまる「□」欄にレ印を付けてください。</p> <p>● P5掲載 3-(1) 景観の顔をつくる景観まちづくりの基本方針 <input type="checkbox"/> 交流とにぎわい <input type="checkbox"/> もてなし <input type="checkbox"/> 歴史・文化 <input type="checkbox"/> 新たな交流 <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>● P7～9掲載 3-(3) 地域らしさをつくる景観まちづくりの基本方針</p> <p>① 「やま」「おか」「まち」「さと」4つの地域の基本方針 <input type="checkbox"/> 「やま」の地域 <input type="checkbox"/> 「まち」の地域 <input type="checkbox"/> 「おか」の地域 <input type="checkbox"/> 「さと」の地域</p> <p>② 建築物の建築及び工作物の建設等に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 住居系 <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> 沿道系 <input type="checkbox"/> それ以外の地域</p> <p>③ 屋外広告物の掲示に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 地域性への配慮 <input type="checkbox"/> にぎわいや個性の演出 <input type="checkbox"/> 施設等の調和 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>④ 大規模な開発事業等に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 周囲への配慮 <input type="checkbox"/> 緩衝空間の確保 <input type="checkbox"/> 周囲との連続性 <input type="checkbox"/> 自然資源、歴史・文化資源の保全と継承 <input type="checkbox"/> 地域特性の活用 <input type="checkbox"/> 大規模なり面等への配慮 <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>⑤ その他の基本方針 <input type="checkbox"/> 小田急線沿線地域における車窓から見える景観への配慮 <input type="checkbox"/> 該当なし</p>		

1 景観に配慮した内容の確認

ガイドラインP10～37を確認し、景観に配慮した内容について、下表のあてはまる「□」欄にレ印を付けてください。「市確認欄」には記入しないでください。

形態・意匠等 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p>項目1 P13掲載 (1)-① 眺望への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 背景となる山なみなどへの眺望になじむよう、配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 山あいや丘陵地などでは、施設が目立たぬよう配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 広がりのある田園の眺望になじむよう、配置や高さ、屋根の形態などを工夫した。</p>	
<p>項目2 P14掲載 (2)-① 地域の自然・歴史・文化との調和</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の景観資源を活用し、個性ある景観づくりに活用した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の伝統的なデザインの保全や活用により、個性あるまちなみ景観の形成に努めた。</p>	
<p>項目3 P15掲載 (2)-② 地域素材などの活用</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史・文化を感じる場所では、景観特性となっている地域素材の活用を努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 自然豊かな場所では、木材等の自然素材を活用し、周辺の自然景観との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地では、地域の景観特性に配慮し、周辺に多く見られる素材との調和を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 光を反射する金属やガラス等の素材を使用する場合は、周辺の景観に対する影響を十分に考慮した上で、その使用方法を工夫した。</p>	
<p>項目4 P16掲載 (2)-③ 景観の質を維持する素材への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 質感を維持しやすい、地域の景観となじむ素材の使用に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 耐久性及び耐候性に優れるとともに、メンテナンス(洗浄補修など)が容易な素材の使用に努めた。</p>	
<p>■ 上記の項目1～4を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

形態・意匠等 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p>項目5 P17 掲載 (3)-① 公共空間などとの一体感への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 歩道と連続した空間は、歩道との仕上げをそろえ段差をなくすなど、道路や隣接地との連続性や一体感の創出に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 樹種の選定や樹木の配置を工夫し、隣接する街路樹や公園の緑などと一体的な緑の創出に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 交差点や角地に位置する場合は、敷地際の緑化や歩行者が憩える空間の確保など、快適な空間づくりに努めた。</p>	
<p>項目6 P18 掲載 (4)-① 周辺環境との調和</p> <p><input type="checkbox"/> 窓、ベランダ、軒高、屋根などの形態及び意匠を工夫し、まちなみの連続性を創出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺の自然景観となじむよう壁面や屋根の形態及び意匠を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面の分割により圧迫感を軽減した。</p>	
<p>■上記の項目5～6を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
<p>項目7 P19 掲載 (4)-② 施設群のまとまりへの配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 一団地内では、施設の配置や規模、高さや屋根形状、壁面のデザインなどの工夫により、まとまりのある景観をつくった。</p>	
<p>項目8 P20 掲載 (4)-③ 単体施設のまとまりへの配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 施設デザインについては、過剰な装飾を避け、各部分と全体のバランスの取れた形態及び意匠となるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋上に設置される設備機器や塔屋などは、通りから見えにくい位置とするとともに、建築物と一体的なデザインとなるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 室外機等は、外壁面に露出させない工夫や建築物との一体的なデザインとなるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋外階段、配管設備などは、外壁面に露出させない工夫をした。</p>	
<p>■上記の項目7～8を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	
<p>項目9 P21 掲載 (4)-④ 地形との調和</p> <p><input type="checkbox"/> 既存の地形を生かし、大幅な改変を避けるよう努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 切り土や盛土を工夫し、自然地形との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 造成後は、自然の植生ができる限り早く回復するよう工夫した。</p>	
<p>項目10 P22 (5)-① 歩行者空間への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 道路などの公共空間からの後退に努め、ゆとりある空間の確保に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路などの公共空間に面した敷地には、積極的に生垣や樹木を配置した。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者空間と一体となる後退した敷地部分は、塀やチェーン、自販機その他の施設を設置しないよう努めた。</p>	
<p>項目11 P23 掲載 (5)-② 隣り合う建物等への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 良好な隣地、隣棟間隔の確保により、ゆとりあるまちなみ景観の形成に努めた。</p>	
<p>■上記の項目9～11を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

色彩 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p>項目1 P24 掲載 (1)-① 周辺の色相との調和</p> <p><input type="checkbox"/> 「やま」や「おか」の地域では、四季を通して違和感を与えない低彩度で暖かみのある色彩により自然景観との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 「さと」の地域では、農地や河川景観などと調和する暖かみのある色相の低～中彩度程度の色彩により田園景観との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 伊勢原駅周辺地区などでは、にぎわいや楽しさ、活力や品格などが感じられる低～中彩度の色彩を基本とし、市街地景観との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根の色彩は、大山など高台からの眺望景観にも配慮し、暖かみのある色相の低～中彩度の色彩により、周辺のまちなみとの調和を図った。</p>	
<p>項目2 P25 掲載 (2)-① 原色及び突出色への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 原色や高彩度の色彩の使用を避け、地域の景観要素に配慮した色彩を使用した。</p>	
<p>項目3 P26 掲載 (2)-② アクセントカラーへの配慮</p> <p><input type="checkbox"/> アクセントカラーを使用する場合は、施設の見付け面積の1/5以下とした。(各壁面を対象とする)</p> <p><input type="checkbox"/> アクセントカラーは、周辺の景観との調和に配慮して使用した。</p> <p><input type="checkbox"/> アクセントカラーは、建物などの基調色とのバランスに配慮した。</p> <p><input type="checkbox"/> アクセントカラーは、シンプルなものとし、複数の色の使用を極力避けた。</p>	
<p>■上記の項目1～3を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

緑化 / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p>項目1 P29 掲載 (1)-① 敷地、沿道緑化への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 生垣などにより、緑の連続する空間を創出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 沿道部における緑のつながりを生かすとともに、植栽の変化を持たせながら、まちなみを演出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 周囲のまとまりのある緑との連続性とその植生に配慮した緑化を図った。</p>	
<p>項目2 P30 掲載 (1)-② 屋外駐車場の修景への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 敷地周囲の緑化により、通りから見た雰囲気や和らげる工夫とした。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋外駐車場の出入り口は、まちなみの分断要素とならないように、可能な限りその集約に努めた。</p>	
<p>項目3 P31 掲載 (2)-① 良好な既存樹木への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 樹容に優れた樹木は、修景としての活用に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 樹容に優れた樹木と一体となった樹林がある場合には、その樹林も含めた保全・活用に努めた。</p>	
<p>■上記の項目1～3を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

広告物・照明など / 景観に配慮した内容	市確認欄
<p>項目1 P32 掲載 (1)-① 広告物の形態や色彩等への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺の景観特性と調和したデザイン、色彩とした。</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境との調和に配慮し、すっきりと際立たせるような表現や色彩とした。</p> <p><input type="checkbox"/> できる限り使用する色数を少なくし、基調となる表示面には高彩度の色彩の使用を避けた。</p> <p><input type="checkbox"/> C I (コーポレート・アイデンティティ)カラーを用いる場合は、地域の景観特性との調和に配慮した使用方法を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地や商業地では、まちなみと調和したデザインを工夫するとともに、「にぎわい」等の演出にも配慮した。</p> <p><input type="checkbox"/> 自然や歴史・文化が景観特性となる場所では、高彩度、高明度の色彩の使用を避けるとともに、自然素材の使用などの工夫を行った。</p>	
<p>項目2 P33 掲載 (1)-② 広告物の掲出方法への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 雑然とした印象とならないよう、複数の広告などをできる限りまとめて掲出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者への圧迫感がないよう、位置や高さ、規模などを工夫した。</p>	
<p>項目3 P34 掲載 (1)-③ 本体と広告物の調和</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面広告物は、外壁面のデザインと一体的な配置・形状となるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面より突出する広告物は、窓枠や階高とのバランスに配慮し、集約化を図るなど規則的な配置となるよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 屋上広告物は、まちなみのスカイライン及び建物と調和した規模・形状となるよう工夫した。</p>	
<p>項目4 P35 掲載 (2)-① 照明への配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 歩行者や生活者がまぶしさを感じないよう照明方法を工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 光が拡散しないよう下向きを基本とし、必要な対象のみを照らすよう工夫した。</p> <p><input type="checkbox"/> 過剰な照明を避け、ライトアップや光のデコレーションにより、効果的な夜間景観の演出を工夫した。</p>	
<p>■上記の項目1～4を補足し、特に配慮した内容について記載してください。</p>	

2 そのほか、景観に配慮した内容

ガイドラインの項目によらず、景観に配慮した内容があれば記入してください。

景観に配慮した内容	市確認欄
<p>(例) 自販機の色は、鮮やかな色彩の使用を避け、ダークブラウンの色彩を使用することで、まちなみとの調和に努めました。</p>	